発展と教育のためのキリスト教機関（CODE）

ニュースレター　2019 年 4 月号

敬愛する里親の皆さま
わたしたちの主、救い主なるイエス・キリストの尊い御名において、皆さまにご挨拶申し上げます。
大変嬉しいことに、プリ・キンダーガルテンスクールは 2019 年 3 月、2018 年度のカリキュラムを無事終了することが出来ました。これまでの三年間、神さまは実に豊かに子どもたちに恵みの雨を降り注いでくださり、その中において生徒たちが学力を躍進させたことは、わたしたちの大きな喜びです。
2019 年 1 月以来、そしてその少し前から学校で幾つかの活動がありましたが、いくつかのやむを得ない状況によりそのことについては、ニュースレターでお伝えすることが出来ません。

クリスマスのお祝い
2018 年 12 月 22 日、プリ・キンダーガルテンスクールでは大きな喜びと楽しみの内にクリスマスをお祝いしました。子どもたちはきれいに飾られたクリスマスツリーに興奮ぎみでしたが、サンタクロースが現れて、一緒にダンスをし、それぞれにクリスマスプレゼントをあげたとき、その喜びは最高潮に達しました。その折、子どもたちは先生たちから教えられたクリスマスキャロルを歌いましたが、その歌声は聞く者を大きな喜びと感動に包むものでした。
このお祝いは、子どもたちの保護者を招いて行いました。プログラムは祈りをもって始められ、聖書朗読とメッセージがありました。子どもたちの保護者の多くはヒンズー教徒ですが、このプログラムを通してイエス・キリストの誕生と、イエスさまがこの世に来てくださった目的を証するよい機会となりました。

古着配布プログラム
2018 年冬季古着配布プログラムは大成功でした。多くの教会、女性会、里親の皆さん、そして個人が、わたしたちのリクエストに応えて、前年よりも多くの様々な服や冬服を送ってくださいました。感謝なことに、2018 年には 4317 枚の冬服などの服を受け取り、1300 人以上の人々に配布ができました。わたしたちはこの古着を近隣地域の貧しい方々に、そして年間を通してわたしたちの学校の生徒たちにも配布しています。日本のバプテスト教会、女性会、里親の皆さん、また他の方々にも是非引続き古着を随時送ってくださいますようお願いします。箱に入れる時には、どうぞ服や文具をビニール（プラスチック）の袋に入れないようにお願いします。税関は箱をスクリーニングにかけ、もしそこにビニール袋に入れられた物が入っている場合には、箱そのものを課税対象とします。また荷物の中身が盗まれることがないように箱はパッキングテープなどで頑丈に封をしてくださることもお願いします。
新学期が始まり、ノート、白い紙、ペン、鉛筆、クレヨン、普通サイズのタオル、ハンドタオル、歯ブラシ、ハンカチ、せっけん、ペーパータオル、おもちゃの車、人形、ブロック、パズルなどの幼児向けのおもちゃが必要です。教会の各会、皆さんに上記の文具を子どもたちのために送ってくださるように声かけをお願いします。学校の経費をこれにより削減することが出来ます。

年度末発表会（Annual day celebration）
2019 年 1 月 19 日、年度末発表会を行いました。プラティマ・ミシュラ（Pratima Mishra）さんという州内でも有名なソーシャルワーカーの方が主賓として華を添えてくださいました。また嬉しいことに、プリの漁村での働きのために来訪中の英国メソジスト教会の牧師であるアリソン・リチャードソン（Alison Richardson）をお招きして、彼女に聖書からショートメッセージをしていただきました。このようにして神の言をそこにいた異なる宗教の方々にも説くことが出来ました。
発表会では子どもたちと一緒に先生たちもオープニングソングを歌い、色あざやかな文化プログラムを展開することが出来ました。主賓のミシュラさんとリチャードソン牧師がクラス毎の発表、課外活動、保健衛生、生活態度などで選ばれた子どもたちに優良賞を授与してくださいました。その他の子どもたちは、それぞれに努力賞を受けました。発表会はナオミビルディングの講堂で行われ子どもたちの家族やプリの様々な教派の教会の方々、また来賓の方々でいっぱいになりました。

証

妻のブルブルが膝の痛みがひどく、歩行が困難になりました。痛み止め薬を飲み、塗り薬もここ何年か使っていましたが痛みは一向にひきませんでした。そこで最終的に膝関節置換手術を受けることを決断しました。州内では良い医者が見つからず、バンガロールの病院にいきました。手術は 3 月 21 日に行われ、およそ 15 日後に抜糸をし、プリに帰りました。現在、理学療法を続けています。
里親の会代表の松本素代美さんがこのことを聞くとすぐ全ての里親、教会の皆さんに彼女のために祈るようにと呼びかけをしてくださいました。ブルブルは、このように癒されたのは医者や医療スタッフのおかげではなく、イエスさまが憐れみをもって多くの祈りに応えてくださったからだと感謝しています。
わたしたちの学校のスタッフであるアヌサラン・ベヘラ（Anusaran Behera）は、急に水さえも飲み込むことが出来なくなりました。すぐにプリ本部病院（Headquarter Hospital）に入院しましたが、二日経っても首に鋭い痛みがあり一向に改善の兆しが見えませんでした。そこでその病院は彼をカタック医大病院に紹介しました。そこに二日間入院しましたが、神の恵みにより三日目には元気になり、プリに戻ることが出来ました。アヌサランのためにお祈りくださった皆さんに感謝を申し上げます。
女子生徒のひとりであるラジャシュレー（Rajashree）は喉に問題があり、話すのに支障が出ていました。医者から手術を受けた方が良いと言われ、両親は大変心配していました。父親は三輪バイクタクシーの運転手で、母親は主婦で手術の費用など払えなかったからです。両親の落胆ぶりと子どもの将来を目の当たりにし、インド総合医学研究所病院という無償で治療を行う所に連絡を取りました。その結果、ラジャシュレーは 3 月 4 日に喉の手術を受けることが出来るようになり、手術は成功し、一週間後には退院することが出来ました。この機会を捉えて、ラジャシュレーの手術のために祈ってくださっていた里親の皆さん、友人の皆さんに感謝します。
わたしたちキンダーガルテン一同、敬愛する里親の皆さんが惜しみなく捧げてくださっていること、そして祈ってくださることに対してに改めて感謝申し上げます。皆さんのことを本当にありがたく思い、皆さんとご家族の上に神さまからの祝福が豊かにありますようにと祈ります。
皆さんのご友人や教会関係の方々の中に里親として加わりたいという方がおられましたら、〒852-8132 長崎市扇町 28-18　メール　taiyo-hoshi@tune.ocn.ne.jp　電話 090-7925-3703 の松本素代美さんまでご連絡をお願いします。ご連絡くだされば必要な情報をお伝えし、インドの助けを必要とする子どもたちに仕える働きに皆さんが参与できるようご案内いたします。

良きイースターを！

ディレクター
S.K.モハンティ

わたしたちの連絡先
住所　Christian Organisation for Development and Education.
Naomi Building, Station Road, Puri 752002, Odisha, INDIA
メール　childrenshomepuri0@gmail.com
電話　00-91-6752-224978　携帯 ＋91-9437114996

里親の皆様

２０１８年度もプリへ２００万円の送金をさせていただくことが出来ました。又多くの教会・個人の方々がプリへ物資をお送り下さり、働きを支えてくださいました事心より感謝申し上げます。
５月３日プリを大きなサイクロンが直撃いたしました。詳細・近況報告は別紙にてご報告いたしております。皆様のお祈りに加えていただきますと幸いです。
今回のような緊急な連絡事項・お祈りのお願いなどご連絡させていただく事が多々あります。
パソコンのメールアドレスをお持ちの方は、是非ご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

２０１９年５月８日
里親世話人会
代表　　松本素代美